

平成25年度 第4回東部地区幼稚園教員・保育士の合同研修会

「今、求められる保育」 ～遊びきる子どもをめざして～

◆研修講師 鳥取大学 地域学部 塩野谷 齊 氏

日時：平成25年8月28日（水）
場所：鳥取県福祉人材研修センター

【ねらい】

遊びきる子どもをめざして、自己の保育をふり返り、保育改善に取り組む。



【研修の様子】

◆講師による講義・意見交換

(鳥取県幼児教育振興プログラムP1 参照)

- ・鳥取教育振興基本計画とのつながり
→鳥取県の一貫した教育の方向性を明確に
- ・『遊びきる』とは (P11～13 参照)

一人一人が自己発揮をし、様々な葛藤体験を乗り越えながら友達とかかわって十分に遊びこみ、満足感や達成感を味わうことができている状態

遊びたい → 遊び出す → 遊びこむ → 遊びきる

- ・乳幼時期の遊び＝学び
→先取りが発達を促すのではない
子どもの発達は、それぞれの発達の充実により実現する
遊びの大切さ・小学校以上の学習の土台
- ・子どもの自主性と環境 等

子どものつぶやきに共感し、主体的な遊びを促していくことが大切です。



【意見交換の視点】

- ◆何をもって子どもたちが『遊びきった』とみとるか。
- ◆『遊びきる』ために心がけてがけていること・心がけたいこと (環境構成・保育者の援助等)

『遊びきる』ためには、興味・関心を大切にした環境構成が大事な。

その子にとって『遊びきる』とは、どういうことなのか見取ることが保育者として必要ですね。



【参加者の感想】

- ・『遊びきる子ども』の姿は一人ずつ違う。目の前にいる子どもたちと向き合い、表情やつぶやきなど、しっかり見取り保育を展開していくことが 大切だということを感じた。
- ・『遊びきる』ためには、環境の構成が重要である。子どもたちが遊びたいと思えるような環境の構成をしていきたい。
- ・保育者も子どもと一緒に遊んで遊びを心から楽しみ、遊びの楽しさを伝えたり、遊びのモデルなったりしていきたい。
- ・子どもたちにとって安心できる空間や遊びこめる時間の保障、共感できる仲間づくりに努めていきたい。
- ・様々な遊びと出会い、子どもたちの可能性を広げていく保育をしていきたい。

鳥取県のめざす幼児の姿『遊びきる子ども』に向けて、日々の保育を充実させましょう。





夢や希望に向かって、学び続け、チャレンジするとっりの子ども (15歳までに)



めざす幼児の姿
遊びきる子ども

学びの基礎づくり

豊かな人間性

健康な体づくり

鳥取県幼児教育振興プログラム (改訂版)
～就学前教育の充実と幼児期から小学校への一貫した支援体制の整備～

《推進の柱》

《基本方針》

1 幼児教育・保育内容の充実

- ・幼稚園教育要領・保育所保育指針に沿った幼児教育・保育の展開
- ・幼児教育・保育環境の改善
- ・特別支援教育の推進

2 教員・保育士等の資質の向上

- ・研修体制の整備
- ・研修内容の充実

3 小学校教育との連携推進

- ・連携・交流の体制づくり
- ・つながりを意識した幼児教育・保育内容の充実

4 子育て・親育ち支援の充実

- ・「親と子の育ちの場」の充実
- ・子育て支援体制の充実 ・センター的機能の整備

5 地域で支える幼児教育の推進

- ・幼児教育関係組織の連携
- ・幼保一体化など新たな課題への対応
- ・地域に支えられた園づくりの推進

【幼児】

- ・文字や数字への興味関心が高い
- ・物がある中で生活
- ・小学校生活への不応
- ・自制心や規範意識の不足
- ・情報が得やすく知識が豊富
- ・基本的な生活習慣の自立の遅れ
- ・外遊びや直接体験の不足
- ・遊びこむ(遊びに集中・遊びこ広がり・試行錯誤のある遊び等) 体験の不足
- ・素直で人なつっこい
- ・コミュニケーションの能力が未発達
- ・体の使い方が未熟で、体力・運動能力が低い

【保護者】

- ・園行事への参加率が高い
- ・我が子へ愛情をかけている
- ・公的な場でのマナーなど規範意識の低下
- ・子育てよりも自分のことを優先
- ・しつけ、子育てを幼稚園や保育所にまかせがち
- ・コミュニケーション能力、人とつながる力の弱さ
- ・子育ての孤立化・子育て不安や情緒不安定

【地域・社会】

- ・少子・核家族化
- ・身近な自然や遊び場の減少
- ・子育て支援体制整備の充実と活用
- ・メディアへの依存
- ・近所の人や地域とのつながりの希薄化
- ・育児情報の氾濫
- ・子ども同士で遊び、葛藤しながら成長する体験の機会の減少

【教員等】

- ・家庭や地域社会の教育力の低下に対応するための資質・専門性を高める必要
- ・教員等自身の多様な体験の不足
- ・保育を構想し実践する能力が不足する傾向
- ・多様な発達や家庭環境に対応する力が必要

鳥取県の特徴

- ・女性就業率が高い
- ・保育所入所児の割合が高い
- ・長期間保育・長時間保育の子どもが多い

背景